

アジア・コミュニケーション
 1970年代の日本による東南アジアイメージ外交

名古屋大学大学院国際言語文化研究科
 メディアプロフェッショナル論講座
 准教授 井原伸浩

1

なぜ
日本のイメージ外交が
重要か？

なぜ
1970年代の東南アジア
が重要か？

2

なぜ
日本のイメージ外交が
重要か？

- 政治的利点
- 経済的利点

3

安倍首相の積極的平和主義は
国際的に評価されているのか？

4

外務省の対日世論調査(2014.3)
 下記7カ国で18歳以上の国民を対象にオンライン方式で実施

Indonesia Malaysia Myanmar Philippine Singapore Thailand Vietnam

5

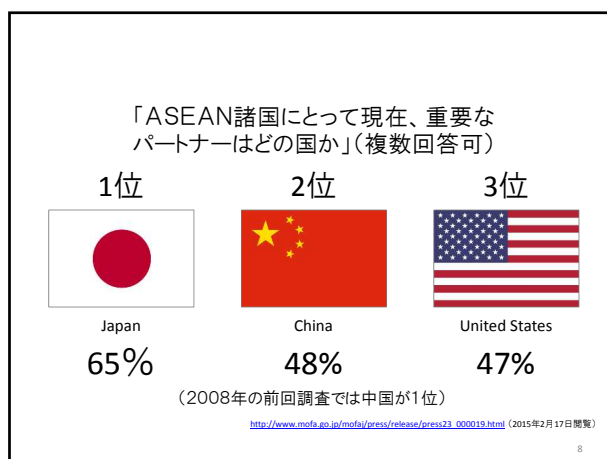
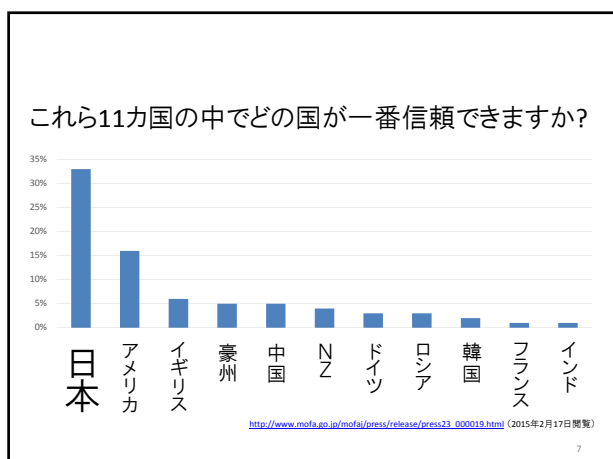
安倍首相の積極的平和主義を
評価する

9割

イメージ向上により
自国の政策が国際的に
受けいられ易くなる

http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/press/press23_000019.html (2015年2月17日発表)

6



ソフトパワー： 強制や報酬ではなく、魅力によって望む結果を得る能力(ナイ, 2004)

価値観に 普遍性がある文化	行動を伴う 政治的な 価値観	正当で敬意 を払われる 外交政策
------------------	----------------------	------------------------

ナイ, ジョセフ (2004)『ソフトパワー—21世紀国際政治を制する見えざるカー—』山岡洋一訳、日本経済新聞社

イメージの
経済的利点
ヒト、モノ、カネ、情報
の動きに関し有利に

▼

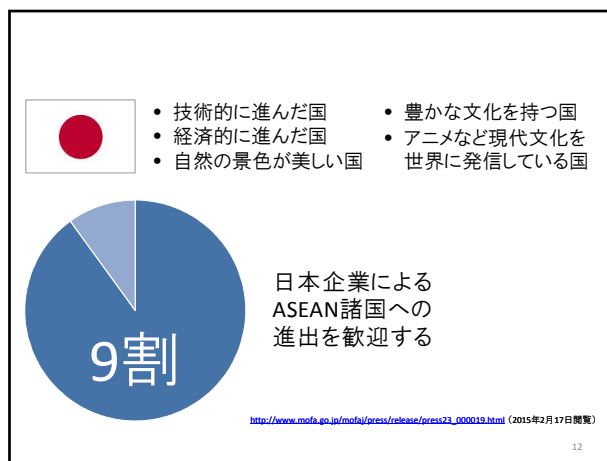
国家の良いイメージは
重要な資産

アンホルト・GfKローパー
国家ブランド指数調査
2014年ランキング

1	Germany
2	USA
3	UK
4	France
5	Canada
6	Japan
7	Italy
8	Switzerland
9	Australia
10	Sweden

国家ブランディング
日本への高い評価

<http://www.gfk.com/news-and-events/press-room/press-releases/pages/germany-knocks-usa-off-best-nation-top-spot.aspx> (2015年2月20日閲覧)



国家のイメージの経済的重要性

真実であろうとなかろうと、人は陳腐な固定観念で行動を決定

イメージがポジティブで強いと受け入れが容易に

- 学生
- 投資
- 援助
- 観光客
- 研究者
- 優秀な労働者
- 有望な起業家など

イメージがポジティブで強いと発信が容易に

- 製品
- サービス
- 政策
- 文化
- プロジェクト
- など

サイモン・アンホルト(2010)「日本は「二つの難問」を解決できるか」(『朝日新聞』「外交」Vol.3, pp.8-15.

13

反日感情が顕著に高まった

▼

その後、状況は劇的に改善

なぜ
1970年代の東南アジア
が重要か?

14

反日感情が顕著に高まった

- タイの日貨排斥運動(1972)
- 田中角栄の東南アジア歴訪(1974)

- 「経済侵略・支配」
- 「経済的新植民主義」
- 「エコノミック・アニマル」

- 「国家ぐるみ買収」
- 「軍事大国化・核武装」
- といった過激な表現も...

15

反日感情が顕著に高まった

▼

その後、状況は劇的に改善

- 日本-ASEAN関係の深化

日本政府の
イメージ外交
が成功した例

16

本授業の構成

1

1970年代
東南アジアの
日本イメージ

2

政府が主体と
なったとくみ

3

民間を通じた
とくみ

17

1 1970年代東南アジアの日本イメージ

なぜ反日感情は高まったのか?

経済支配
の懸念

現地での
日本人の
ふるまい

軍事大国化
の懸念?

18

1 1970年代東南アジアの日本イメージ

日本政府にできることは限られていた

- 情報発信力不足
- 現地の国内事情
- 国際情勢の影響

19

1 1970年代東南アジアの日本イメージ

情報発信力不足
日本のイメージもアメリカ発の情報に影響を受けやすい

20

1 1970年代東南アジアの日本イメージ

現地の国内事情

- 日本のもたらしている経済的効果に対する現地人による理解が乏しい
- 不適切な開発政策
- 援助で私腹を肥やす政府当局者も

↓

援助受入国の内政に介入できない
内政不干涉原則のため

21

1 1970年代東南アジアの日本イメージ

激しい反日運動

↓

反日運動という形式での自国政府批判
という側面も

22

1 1970年代東南アジアの日本イメージ

国際情勢の影響

- インドシナ半島共産化
- アジアでの米国の関心低下

▶

70年代の国際情勢は
反日感情の緩和に貢献

23

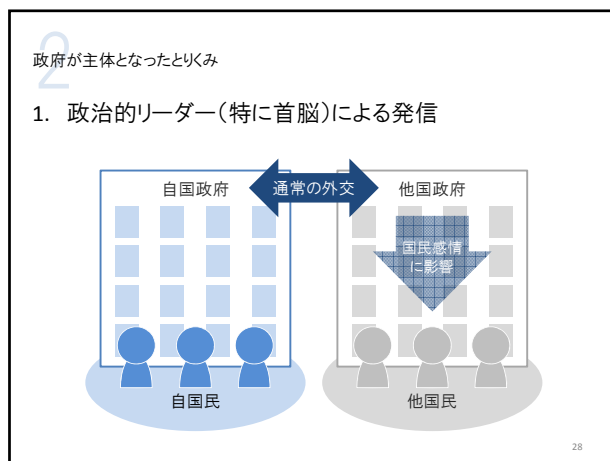
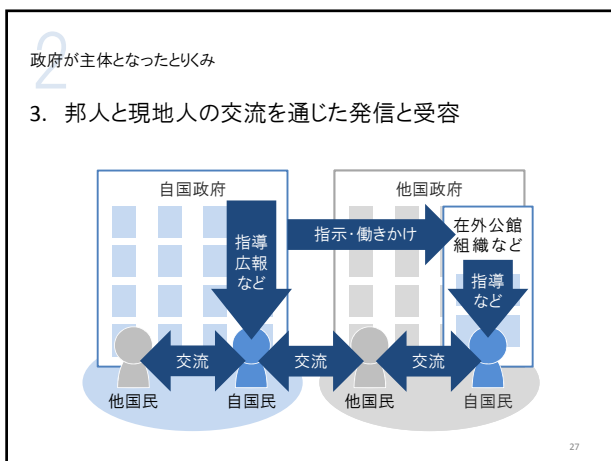
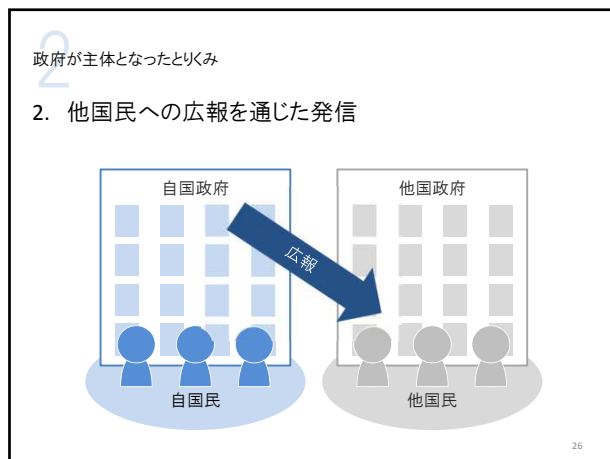
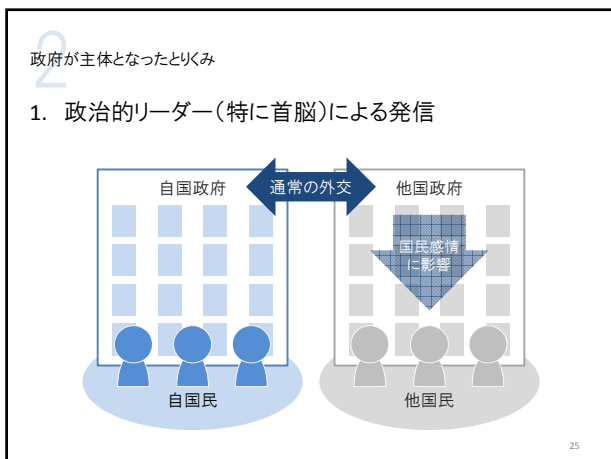
1 1970年代東南アジアの日本イメージ

日本政府にできることは限られていた

反日感情の主要因は、そのほかにも…

- 民間の進出
- 日本の社会、経済、文化的体質
(外務省の見解)

24



2
政府が主体となつたとりくみ

- 経済大国の軍事大国化?
- 第二次世界大戦の記憶

軍事大国化の懸念?

31

2
政府が主体となつたとりくみ

- 平和憲法
- 非核三原則
- 徴兵制を採用していないこと

を国際的に宣伝

32

2
政府が主体となつたとりくみ

福田ドクトリン(1977)

- 1 日本は
軍事大国にならない
- 2 日本は東南アジア諸国と政治、経済のみならず社会、文化等広範な分野で「心と心のふれ合う相互信頼関係」を築く
- 3 日本は、
 - 「対等な協力者」の立場から、
 - ASEANおよびその加盟国の、連帯と強靱性を強化する自主的努力に協力するとともに、
 - インドシナ諸国と相互理解に基づく関係醸成に努める

33

2
政府が主体となつたとりくみ

アジア局の見方では、日本の

- 非対称的な経済力
- 乏しい政治・軍事力

対外面の方向性が不明瞭な印象与える

↓

「アジアにおける既存のバランス」維持の方針
軍事大国化/急激な経済的アジア進出は、現状変更と認識される

34

2
政府が主体となつたとりくみ

「既存のバランス」

- 米国の軍事的コミットメント維持
- インドシナ諸国との協調
- 対等な立場でASEAN諸国の連帯や強靱性強化の自主的努力に協力

35

2
政府が主体となつたとりくみ

- 米国の軍事的コミットメント維持

カーターとの首脳会談で
福田 赳夫 が 訴 え

- 軍事安全保障上の安定
- 日本の再軍備化を抑制?

36

2
政府が主体となつたとりくみ

- インドシナ諸国との協調
- 対等な立場でASEAN諸国の連帯や強靱性強化の自主的努力に協力

福田ドクトリン(1977)

3
日本は、

- 「対等な協力者」の立場から、
- ASEANおよびその加盟国の、連帯と強靱性を強化する自主的努力に協力するとともに、
- インドシナ諸国と相互理解に基づく関係醸成に努める

37

2
政府が主体となつたとりくみ

経済不振・貧困などが最重要課題に
政権に不満を持つ国民が転覆・反乱を支持?

▼

強靱性 国家安全保障のための
国内の社会的基礎

38

2
政府が主体となつたとりくみ

- 対等な協力者
- 自主的努力

▶ 日本とASEANのパワーのギャップにかかわらず
ASEANがイニシアティブ

39

2
政府が主体となつたとりくみ

経済支配
の懸念

ASEAN5ヶ国が71年に
受け取った援助のうち
24%が日本のODA

40

2
政府が主体となつたとりくみ

ひも付き援助
域内諸国より日本の経済力強化に資するとの見方

Indonesia Singapore

Malaysia

Philippine Thailand

援助

製品・サービスを購入

41

2
政府が主体となつたとりくみ

- 政府主導の(民間任せでない)援助
- 援助条件の緩和(アンタイド化)

42

2
政府が主体となつたとりくみ

日本とASEANのコミュニケーションチャンネル構築

日本・ASEANフォーラム
第1回会合(1977.3)

第2回ASEAN首脳会議
(1977.8)

↓

ASEANのニーズを日本に伝える有効な手段に

43

2
政府が主体となつたとりくみ

「桁違い」な開発援助を約束
総額4000億円を超える

第2回ASEAN首脳会議
(1977.8)

- 総額10億ドルのASEAN産業プロジェクトへの援助表明
- 技術援助の供与も検討
- ASEAN諸国に重点をおいたODA5年間倍増計画など

44

2
政府が主体となつたとりくみ

ASEAN文化基金の設立

ASEAN諸国間の文化交流

~~日本-ASEANの文化交流~~

45

2
政府が主体となつたとりくみ

- ASEAN諸国主導で運営
- 日本は設立に拠出するのみ

↓

同基金が「日本政府の文化事業の
ダムミであるとの疑念を払拭するため」

46

2
政府が主体となつたとりくみ

2. 他国民への広報を通じた発信

自国政府

他国政府

自国民

他国民

広報

47

2
政府が主体となつたとりくみ

アジア局

情報文化局

- 反日感情の要因の分析
- 実態面の改善策を提示
- 広報活動も数多く提案

広報政策が専門

- 米国で一定の成果
- アジア局案を多く採用
- 各在外公館が提出した事業計画に基づき実施

48

2 政府が主体となつたとりくみ

アジア局

反日感情の諸要因のうち、

- 実態に起因するもの …………… 実態面の対策が必要
- 認識不足 } に起因するもの …… 積極的広報活動が必要
- 不正確な認識
- 誤解

49

2 政府が主体となつたとりくみ

対外直接広報

- 短編テレビクリップの作成・放送
- 主要紙に広告記事を掲載
- 各種定期・不定期刊行物
- 広報映画の作成と在外公館への配布

50

2 政府が主体となつたとりくみ

対外間接広報

日本政府のプロパガンダとみなされないように

51

2 政府が主体となつたとりくみ

対外間接広報

シンポジウム、講演会の開催

- 対日認識の向上を図る
- 講師は日本や現地国の**学者や専門家**
- **各界の指導者**による参加を募る
- **現地報道機関**に報道してもらうよう働きかけ

日本の援助プロジェクト等の視察

- **現地有識者、報道関係者**などを招く

52

2 政府が主体となつたとりくみ

対外間接広報

テレビ工作

- **現地テレビ局**に日本関係番組を制作・放映させる

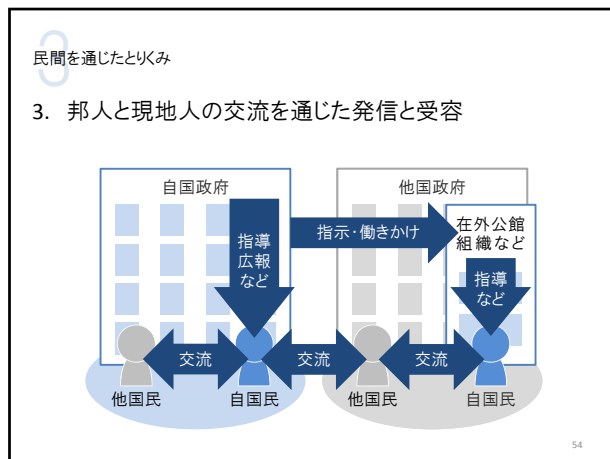
政策広報資料の作成・配布

- テーマは日本と現地諸国の関係
- **有識者や報道機関**に配布

日本への招待を拡充

- **報道関係者、学生、その他オピニオンリーダー**
- **報道関係者**には、各界要人とのインタビューさせる

53



民間を通じたとり組み

経済支配の懸念

貿易問題

- 貿易不均衡
- 貿易依存
- 貿易摩擦

55

民間を通じたとり組み

貿易問題

- 貿易不均衡
- 貿易依存
- 貿易摩擦

総貿易赤字の2/3が日本から

\$2億5200万(1972)

\$5億2200万(1972)

Japan Thailand

56

民間を通じたとり組み

貿易問題

- 貿易不均衡
- 貿易依存
- 貿易摩擦

輸出・輸入を3割から4割日本に依存

Indonesia Philippine Thailand

57

民間を通じたとり組み

貿易問題

- 貿易不均衡
- 貿易依存
- 貿易摩擦

資源の搾取

\$7億60万(1973)

\$16億960万(1973)

Japan Indonesia

58

民間を通じたとり組み

域内諸国の輸出振興に資する
公正な商態度

- 買い控えや買いたたきを控えた安定的な商取引
- 現地の商慣習の尊重
- 現地エージェントの切り捨てを控える
- 贈賄や裏金等、不正手段の是正

59

民間を通じたとり組み

【投資のあり方】

- 日本企業の出資比率過大
- 一部業種の寡占化

60

民間を通じたとり組み

現地企業への打撃緩和

- 地場産業の尊重と協調
- サービス業等第三次産業への進出自粛

61

民間を通じたとり組み

現地多数派に有益な投資

- 合併のパートナーに中華系住民ばかりを選択しない
- 現地企業の出資比率高める(企業名・ブランド名の変更検討)

62

民間を通じたとり組み

大量な日本製品・企業の広告/ネオン塔/テレビCM

現地国民の文化的ナショナリズムを刺激
経済支配の印象強まる

63

民間を通じたとり組み

目立たない努力

- ネオン灯
- 看板
- テレビ
- 新聞など

を通じた「過大な」宣伝活動の自粛

64

民間を通じたとり組み

現地人の待遇に不満

- 現地語を解しない日本人が企業・支店のトップを独占
- 中堅の管理職も邦人が独占

65

民間を通じたとり組み

現地人の待遇を改善

- 邦人職員の事前学習・長期滞在を奨励
現地語・文化の理解深める
- 現地人職員の積極的登用
- 出先機関に大幅な権限委譲
現地事情に適した計画の実施・修正

66

民間を通じたとり組み

- 観光客のマナー: 無礼講、集団行動
- 「旅の恥はかき捨て」: マナー違反、買春ツアー
- ごう慢な態度: 資本金・技術力を背景とした

現地での日本人のふるまい

67

民間を通じたとり組み

文化的あつれき

- 能率万能主義
- 集団への忠誠
- 競争的行動様式

現地での日本人のふるまい

68

民間を通じたとり組み

相互理解の不足
邦人と現地人の交流が少ない

現地での日本人のふるまい

69

民間を通じたとり組み

相互理解の不足
現地人と邦人との交流の不足

在留日本人の語学力や社交性が著しく乏しい

在留邦人社会は、閉鎖的で、現地人と「心の触合い」がない

日本人は「親しみがなく」特に集団的行動は「奇異」「不気味」

相互交流推進が必要

70

民間を通じたとり組み

相互理解の不足
現地人と邦人との交流の不足

日本はASEAN諸国に金銭的関心しかない

経済協力が域内諸国よりも日本の経済力強化に資している

71

民間を通じたとり組み

文化協力

- 相互理解深める
- 経済偏重関係の是正
- 文化交流
- 学術交流
- 文化教育機関への援助

日本の「経済支配」イメージを薄める

72

民間を通じたとり組み

**関係省庁間の協議
連絡体制を整備**

- 経済官庁
- 運輸
- 労働
- 文部など

現地で活動する企業の指導

- 現地反日感情の改善策を協議
- 日本人と現地人の間に生じた摩擦の具体的事例を逐次周知する
- 「行政指導を含む各省の権限を有機的、機動的にフルに発揮する」

73

民間を通じたとり組み

**政府と業界
の協議連絡
体制を整備**

現地事情に則した

- 投資の規模
- 業種の適正化
- 地場資本育成策との調整
- 進出企業の人事・労務管理
- オーダーリー・マーケティング
- 現地に対する利益還元等

についての意識を涵養・自発的改善を促す

74

民間を通じたとり組み

マスコミとの関係強化

日本の新聞等に掲載された論調

▼

現地のマスメディアに反映されがち

75

民間を通じたとり組み

間接広報に
より重点置く

- 日本人向け広報の出版物
オピニオンリーダーに提供
- 日本人向け講演会
対日批判の啓発、上記資料の配布
- テレビによる広報
対日批判問題を扱う番組作り協力

76

おわりに

77

中国と韓国での日本イメージは悪化

最大の課題は歴史問題

歴史認識問題/靖国神社参拝問題/慰安婦問題

↓

長期的視野にたった政策評価の必要性
信頼構築は時間がかかる

78

「～をしない」外交
 ・ 軍事力を保有しない
 ・ 憲法を改正しない
 ・ 集団的自衛権を行使しない
 など

➔ 論争を生みかねない
 政策を実行しながら
 不信を緩和する考え方

79

福田ドクトリン
 ・ インドシナ諸国と相互理解に基づく関係醸成に努める

国際的な政治的役割を拡大する試み
 日本を脅威視する国にとっては、必ずしも歓迎できない

80

福田ドクトリンで理念を示しつつ
 政治的役割を実践

➔ 実践の中で
 信頼回復

81

批判はあっても
 まず実践

➔ その中で日本の取り組み
 に対する信頼性を高める

82

集団的自衛権
 行使の閣議決定
 2014.7.1

「冷戦が終結し、地域紛争が多発する中、国連PKOへの自衛隊参加に道を開きました。当時は戦争への道だと批判されました。しかし、カンボジアで、モザンビークで、そして南スーダンで、自衛隊の活動は世界の平和に大きく貢献し、感謝され、高く評価されています。」

http://www.kantei.go.jp/jp/96_abe/statement/2014/0701kaiken.html (2014年7月3日閣議)

83

ありがとうございました

84